

○概ね10年程度で、小規模かつ地域分散化を図るための整備方針(計画)

(1)当該施設のユニット数及び定員数の推移

施設 の 概 要	定員(現在)		⇒	定員(オールユニット整備後:R 年度)		⇒	定員(将来の姿(概ね10年程度後))	
	分園型小規模GC	名()		分園型小規模GC	名()		分園型小規模GC	名()
	地域小規模児童養護施設	名()		地域小規模児童養護施設	名()		地域小規模児童養護施設	名()
	大・中・小舎	名		大・中・小舎	名		ケアニーズが非常に高い子どもの養育のため、集合する生活単位(※)	名()
	敷地内小規模GC	名()		敷地内小規模GC	名()		合計	名()
	合計	名()		合計	名()		合計	名()

注 ()内には、当該施設のユニット数又は地域小規模児童養護施設数を記入すること。

※ 小規模かつ地域分散化の例外としての生活単位の集合(4人程度の生活単位とし、概ね4単位程度まで)

(2)当該施設の小規模かつ地域分散化を図るための整備方針(計画)

①小規模かつ地域分散化に向けた検討状況・課題、②本整備後の小規模かつ地域分散化に向けた整備計画、③概ね10年程度で小規模かつ地域分散化を図るための計画概要、④生活単位の独立、地域社会との良好な関係性の構築のための工夫などについて記載すること

(3) 高機能化、多機能化・機能転換についての実施メニュー、実施時期(居室等を転用する場合はその時期等)

◎高機能化

①小規模かつ地域分散化された施設における、ケアニーズが高い子どもの養育体制の充実、②小規模かつ地域分散化の例外としての生活単位の集合における、ケアニーズが非常に高い子どもの養育体制の充実 (注)小規模かつ地域分散化した施設との連携やこれらに対する専門的な支援も含まれる。

◎多機能化・機能転換

①入所している子どもの早期の家庭復帰や養子縁組、里親委託の推進、②一時保護委託の受入体制の整備、③養子縁組支援やフォスタリング機関の受託等の里親支援機能の強化、④在宅支援や特定妊婦の支援強化 等
について、記載すること

【作成に当たっての留意事項】

各都道府県は、今後の代替養育を必要とする子ども数の見込み数を踏まえつつ、委託可能な里親の確保等といった家庭養育優先原則の徹底のための取組を最大限進めて行く中においても、必要となる施設養育の受け皿を確保し、保護が必要な子どもの行き場がなくなることがないように、各施設とも十分調整すること。